

「歴史と宗教」シリーズもの

[はじめに]

日常において「歴史と宗教」に係り見聞きしたものから、私が関心を寄せたものの種々雑多をランダムに収集しているが、そのメモの一部である。

取り上げたテーマの中には、数多の書籍が販売され、専門家や学者が競って研究論文を発表している、インターネットには関連情報が溢れているものがある。浅学菲才の私の到底及ぶ処ではない。そういうものに張り合うつもりは毛頭なく、素人の私が率直に感じて問題意識を持ったものを遊び心の一環として、私の思いを整理したものである。また、歴史と宗教についての問題意識といえども逐一解説するものではなく個人的な感想というものである。

私は、何かの歴史・宗教関係の組織や政治的政党党派に属してはいない、あくまでも個人の趣味の範疇、私的なものとして、自分の考え方、自分の知識を整理するため、自己満足的に書いたものである。

私の「分別知」——軽佻浮薄の身を省みず、我田引水・自己陶醉・大言壮語——の狭隘において記述したものである。

したがって、誤字脱字や日本語文法上の間違いや前後の脈絡があいまいな処が多数あるはずである。本書は世に問うて意見を乞うものでなく、考え方の是非を指摘されて、批評されてもノータリン（脳足りん）の私にとって、如何ともし難く詮無きことである、性格（性質）の投影故に書いた総てを以って私の限界である。

可笑しな処に気付いた場合は、読み手のお方が、その聡明な頭脳を以って、自由に解釈して貰えればいいし、想像力と創造力を逞しく発揮し、ご自分の世界へ反映して貰えればそれで結構でござる。

なお、人を指す「人、人間、相手、他人」の文字を多用しているが、もちろん、「私」を含んで使っている。

かおる
山形市の大沼 香